

医療と物語

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 講師		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野、人間科学科心理学・行動科学分野、緩和医療学科、臨床遺伝学科、救急・災害・総合医学講座災害医学分野、教養教育センター		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

医学と医療の違いを考え、人間関係に基づく医療行為を理解するために、近代科学と対極にある物語の世界について考える。医療現場では、細胞や組織、臓器が病気に侵されたときにどのように変化したかを見極める病理診断によって治療が行われる一方で、臨床疫学的な見地と個々の症例を結びつけたエビデンス・ベイスト・メディスン（EBM 科学的根拠に基づく医療）と医療面接において病について語る患者のストーリーから病の原因と治療方法を探るナラティブ・メディスン（物語と対話に基づく医療）の両面から病を考えることが行われている。

本講義では文学の物語享受の有り方を通して、本学附属病院ならびに災害医療センターの臨床医、学内外の専門家の協力を仰ぎながら、病のストーリーを受容するための基本姿勢を学修する。文学においては、とりわけ「死」や「痛み」をテーマとする作品を精読し、グループワークやディスカッションを通して、生きることと死ぬことの意味を自分に問いかける。

・教育成果（アウトカム）

文学がときに病と密接に関わりながら創造されてきたことを理解し、医療現場における病者の物語、病の物語、医療従事者の物語に対する問題意識を持つ。文学の韻律や象徴の技法を学ぶことによって、文学を読み解くように病者や病の現実を受容するアプローチの可能性を理解する。また、臨床現場における最新の知見や症例における物語的側面に意識を向け、誠の医療人として地域での医療体験実習や臨床実習に臨む心構えを形成する。様々な物語を読むことによって、自分自身の人生、他者との関わり、医療人としての立場におけるナラティブを考え続けるためのビジョンを形成する。（ディプロマポリシー：1、3、4）

・到達目標（SBO）

1. 医学と医療の違いについて説明することができる。
2. 物語とは何かということを説明することができる。
3. ナラティブ・メディスンとナラティブ・ベイスト・メディスン、エビデンス・ベイスト・メディスンの違いを説明できる。
4. テキスト内のメタファーが開くナラティブ・コンピテンシーについて理解することができる。
5. 臨床現場における病と治癒を媒介するナラティブ・アプローチに目を向けることができる(50, 54)。
6. 多くのテキストを味読することによって、死と生、痛みや苦しみにについてより深く思いをいたす(5, 29, 60)。

・ 講義日程

【講義】

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
9/2	木	2	英語分野	柳谷 千枝子 講師	<p>授業ガイダンス、 ナラティブ・メディスンとは何か</p> <p>1. ナラティブ・メディスンの概要および文学との関連性について理解することができる。</p> <p>2. A. Kleinman の病いの定義について理解し、説明することができる。</p> <p>事前学習：ナラティブ・メディスンの定義について調べておく。</p>
9/9	木	2	緩和医療学科	木村 祐輔 特任教授	<p>治療の物語—臨床における緩和ケア—</p> <p>1. 緩和医療の現場における治療とケアの物語の展開について理解することができる。</p> <p>2. 病に罹患した患者や家族の苦悩を理解し、医療人としての自身の役割、あり方を考えることができる。</p> <p>事前学習：緩和ケアとは何かについて調べておく。</p>
9/16	木	2	教養教育センター	平林 香織非常勤講師	<p>八百屋お七のナラティブ—心的心声をきく</p> <p>1. 作中人物の語りに先入観無しに耳を傾けることができる。</p> <p>2. 文学作品読解の方法が、医療におけるナラティブ理解に応用できることを理解することができる。</p> <p>【グループでシンク&トークを行う。】</p> <p>事前学習：日常生活における自分の話し方や聞き方のスタイルの特徴について考えておく。</p> <p>事後学習：登場人物のナラティブを考えながら本（小説）を1冊読む。</p>
9/30	木	2	教養教育センター	櫻井 滋 非常勤講師	<p>眠りと病の物語—堀辰雄「風立ちぬ」から</p> <p>1. ヒトにとって眠りとは何かを行動睡眠医学の立場から説明することができる。</p> <p>2. 「風立ちぬ」の情景描写から眠りと病について理解し説明することができる。</p> <p>3. 患者や家族の物語形成に医療と医療環境がどのように関与するかを理解し、説明することができる。</p> <p>4. 病への無理解や医療介入が普遍的に有している障害行為としての側面について理解し、説明することができる。</p> <p>事前学習：眠りと病の関連について調べておく。</p>

10/21	木	2	臨床遺伝学科	山本 佳世乃特任講師	<p>遺伝性疾患の物語—臨床におけるナラティブ・カウンセリング (1)</p> <p>1. 遺伝性疾患の物語的側面を理解することができる。</p> <p>2. 遺伝性疾患をもつ患者・家族の語りから「病い」の経験の多様性を理解できる。</p> <p>事前学習：遺伝性疾患の定義を調べる。</p> <p>遺伝性疾患に該当する疾患名を3疾患調べる。</p>
10/28	木	2	臨床遺伝学科	山本 佳世乃特任講師	<p>遺伝性疾患の物語—臨床におけるナラティブ・カウンセリング (2)</p> <p>1. 遺伝カウンセリングの臨床におけるナラティブ・アプローチの可能性について理解することができる。</p> <p>事前学習：遺伝カウンセリングの定義を調べる。</p>
11/4	木	2	災害医学分野	眞瀬 智彦 教授	<p>災害医療の歴史と東日本大震災での医療活動</p> <p>1. 災害医療の歴史について理解することができる。</p> <p>2. 東日本大震災での医療活動の実態について説明することができる。</p> <p>3. 東日本大震災以降の大規模災害での医療活動を理解することができる。</p> <p>事前学習：災害と災害時の医療活動について調べておく。</p>
11/11	木	2	教養教育センター	熊谷 治子非常勤講師	<p>「病」と「死」の物語—T. S. エリオット原作ミュージカル『キャッツ』と「うつろな人々」</p> <p>1. T. S. エリオットの詩の物語性を理解することができる。</p> <p>2. T. S. エリオットの詩から「病」と「死」について理解し、説明することができる。</p> <p>事前学習：T. S. エリオット原作のミュージカル『キャッツ』のあらすじを調べておく。</p>
11/18	木	2	教養教育センター	佐藤 洋一非常勤講師	<p>古くて新しい医科学の物語—フランケンシュタインとファウスト</p> <p>1. 知識の間違った応用（非倫理的な応用）の例を述べるすることができる。</p> <p>2. 知識を無限大にふやすことの是非を論じることができる。</p> <p>3. 科学の進歩が必ずしも人類の平和をもたらすわけでは無いことを踏まえ、倫理的な応用について持論を展開できる。</p> <p>事前学習：再生医療とAIに関して調べておく。授業中、インターネットクリッカーを使用する。</p>

11/25	木	2	教養教育センター 英語分野 心理学・行動科学分野	中島淳子非常勤講師 柳谷千枝子講師 藤澤美穂講師	子どもの発達と家族のかかわり 1. 子どもの社会性発達を理解し、子どもの発達における愛着の重要性について、述べるができる。 2. 子どもとその家族への関わりが必要であることを理解し、多職種連携での支援の重要性について、説明できる。 事前学習：子どもの社会性発達について調べておく。 ※パーソナリティ心理学と合同講義
12/2	木	2	英語分野	柳谷千枝子講師	ビブリオバトル（クラスマッチ） 1. 自分が選んだ作品についてその魅力を分かりやすく発表することができる。 2. ビブリオバトルを行うことで、論理的思考能力を身に付けることができる。 3. 質疑応答やジャッジを通じて自身の発表に関する改善点を挙げるができる。 事前学習：My Biblio を選んで期日までにコンテンツシートを作成、提出する。
12/9	木	2	英語分野	柳谷千枝子講師	G. グリーンの諸小説における病者 1. G. グリーンの作品に描かれている病める者特有の表情や行動を分析し、説明することができる。 2. 登場人物が抱える様々な苦痛を読み解き、理解することができる。 事前学習：全人的苦痛（トータルペイン）について復習しておく。
12/16	木	2	英語分野	柳谷千枝子講師	ビブリオバトル（ファイナルマッチ） 1. 選出されたバトルとビブリオバトルを行うことで、幅広い書籍情報を共有できる。 2. 質疑応答やジャッジを通じて自身の発表に関する改善点を挙げるができる。 事前学習：スタナビの「ビブリオバトル」を読み、理解しておく。
12/20	月	1	英語分野	柳谷千枝子講師	総括 1. 本講義全体を通して病者の物語、病の物語、医療従事者の物語を通じて生きることと死ぬことの意味を考察し、意見をまとめることができる。 事前学習：講義資料を読み返し、全体を通して印象に残ったキーワードを挙げて、医療と物語の関係性について自分の考えを整理しておく。

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	医療人のための文学	平林香織	川口印刷	2012
参	ナラエビ医療学講座	齋藤清二	北大路書房	2011
参	風立ちぬ・美しい村	堀辰雄	新潮文庫	1951
参	<i>Narrative Medicine</i>	Rita Charon	Oxford UP	2008
参	<i>Narrative Based Medicine</i>	Trisha Greenhalgh & Brian Hurwitz	BMJ Books	2004
推	音楽と絵画で読む T.S.エリオット	熊谷治子	彩流社	2018

・成績評価方法

1. 期末レポート:50%
2. リアクションペーパー:30%
3. 受講態度（事前学習、グループワーク・ディスカッション、ビブリオバトル等への積極的参加など）:20%

・特記事項・その他

1. 本講義では、文学作品・映像・音楽・絵画を用いたナラティブ（物語）に関するグループワーク・ディスカッションを行う機会を設ける。
2. 9月16日および11月11日の講義はZoom講義とする。
3. 11月25日の講義は「パーソナリティ心理学」と合同で行う。
4. 一部、「医療と法律」「人間関係論」「パーソナリティ心理学」と科目横断的にビブリオバトルを実施する。
5. 講義内容をもとに、毎回リアクションペーパーを書いて提出することとする。
6. リアクションペーパーは採点の上、返却する。
7. 事前学習として、講義で取り上げる作品や作家、主要テーマについて調べておくこと。また、参考書および推薦図書を一読しておくことが望ましい。事前学習にはおよそ30分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型PC Panasonic CF-J9	1	講義資料の提示
講義	エルモ書画カメラ	1	講義資料の提示
講義	DVDプレーヤー	1	講義資料の提示
講義	BD/DVDプレーヤーLogitech LBD-PUB6U3VWH	1	講義資料の提示
講義	BD/DVDプレーヤーLogitech LBD-PUB6U3VWH	1	講義資料の提示